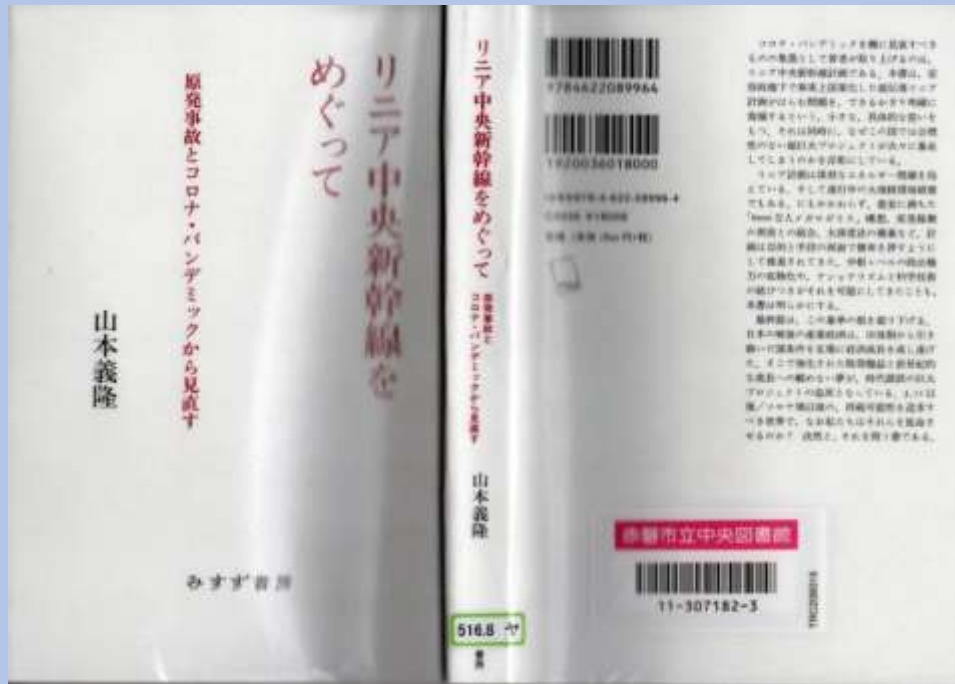


# リニア中央新幹線をめぐって

原発事故とコロナ・パンデミックから見直す

山本義隆



中西 卓

4/9に みすず書房から出版されたばかりの新刊書です。新聞広告を見て地元の図書館に取寄せ依頼したのが届き、多くの方にお勧めしたい読み物と思って紹介します。

リニア新幹線建設の問題を物理学者の眼で捉えています。莫大な電力エネルギーを賄うのに事故前の原発増設計画があったこと、ビジネスやインバウンド客の増加に今の新幹線では不十分などを背景に、JR東海（私企業）の営業方針に基いた計画を国が認めた。

それが、今やコロナで人の動きが激減、オンラインの時代に見直すべきだと。モグラの旅を好むのがあるのか。

静岡県が拒む南アルプスの地下掘削、ジェネコンの談合など、問題が一杯なのに見直ししない政治。

コロナへの対応、オリンピックを開催するのか、難題に振り回されている。自然災害も否応なくやってくる。

膨大な赤字財政もある。問題を一つでも片付けるのに、リニア新幹線建設を中止することが分かり易い。

日本の政治は地に足がついていない、メルケルさんのようなリーダーを望むのは無理なことだろうか。

書物の紹介に政治的な私見が加わって恐縮です。ご了解を。